

G 7 宮崎農業大臣会合協力推進協議会 事業実施状況報告

令和5年3月20日

G 7 宮崎農業大臣会合協力推進協議会

目 次

- (資料 1) G 7 宮崎農業大臣会合について…………… P 1
- (資料 2) これまでの協議会の取組状況について…………… P 2
- (資料 3) G 7 宮崎農業大臣会合中の本県 P R 等について…………… P 1 2
- (資料 4) G 7 宮崎農業大臣会合における現地視察の候補について…… P 1 4

G7宮崎農業大臣会合について

1 概要

(1) 日時

令和5年4月22日(土)、23日(日)
(4月21日(金)からサイドイベント等を実施)

(2) 場所

シーガイアコンベンションセンター(宮崎県宮崎市)

(3) 参加国等

① G7メンバー国

日本(議長国)、フランス、米国、英国、ドイツ、イタリア、カナダ、EU

② 招待国際機関

数機関程度で調整中

2 議論が想定されるテーマ(調整中)

(1) 食料の安定供給の確保

(2) 農業の持続的な発展

3 主な日程

	4月21日(金)	4月22日(土)	4月23日(日)
午前	セミナー① 展示(~23日まで)	バイ会談 全体会合 高校生との対話	全体会合 共同記者会見
午後	セミナー② セミナー③	(昼食)~首長プレゼン 全体会合	(昼食) 現地視察
夜	歓迎レセプション	大臣主催夕食会	

バイ会談…G7参加国の2国間での会談

これまでの協議会の取組状況について

1 開催支援事業

■ 警備、宿泊、輸送交通等の調整

- 海上保安庁、県警、消防等の危機管理担当機関やインフラ関連事業所等が連携を図り、危機管理体制を構築
 - ・危機管理担当者会議（12/15 県庁）
会合概要説明、国際テロ情勢の説明及び分科会等を実施し、危機管理体制構築に向けた取組を協議
- 合同視察会（1/23、2/1）
 - ・消防防災、警備、救護、衛生担当者による現地視察



▲危機管理担当者会議

■ 会場展示

- 農林水産省と協議し、以下の内容で展示を予定
 - ・世界農業遺産高千穂郷・椎葉山地域
 - ・自動収穫ロボットと施設園芸環境制御
 - ・地域資源循環型農業、宮崎県立農業大学校等
 - ・日本農業遺産（大根やぐらほか）
 - ・観光物産PR展示



▲紹介ブース ※G20 新潟の例



▲VRを用いた展示※G20 新潟の例

■ 会場装花

- 県内で生産された花きを用いたおもてなしとPR
 - ・ウェルカム装花
 - ・フラワースポット装花
 - ・本会合、バイ会談装花
 - ・要人控室装花
 - ・連絡通路装花



▲歓迎パネル ※G20 新潟の例



▲会場 ※G20 新潟の例

■ 「高校生の提言」プロジェクト（12/27～4/15、全8回）

- 公募によって選ばれた県立高等学校 14 校 20 名の高校生が集い、各国代表団に対して提言を行うことを目指すプロジェクト。農林水産省や県農政水産部による講義、生産現場での現地研修、海外学生との意見交換などの活動を通じて提言を検討中。



▲キックオフミーティング



▲現地研修（宮崎市田野町）



▲海外学生とのオンライン交流

■ 現地視察先の調整

- 本県の代表的な名所や農産物等をPRするために国と連携して実施。視察先毎の内容については調整中。

■ 会場見学ツアー（アフターツアー）

- 会合の盛り上げや円滑な運営に協力いただいた児童・生徒やボランティアに、会合の様子やその成果、協議会の取組などを紹介するため、本会合終了後に会場見学ツアーを計画。



▲会場見学ツアー ※G20 新潟の様子

■ 県民向け会合展

- 会合の概要をはじめ、会合期間中の会場内の様子や本県の魅力PR、おもてなしの取組などをパネルで紹介するとともに、会合時と同じような会場展示を県民が体験できる会合展を計画。（日時及び場所は今後調整）



▲会合展 ※G20 新潟の様子

2 おもてなし事業

■ 歓送迎セレモニー

- 来県された各国の要人や関係者を温かくお迎えしたり、お見送りしたりするため、歓送迎セレモニーの実施を調整中。
 - ・ ウェルカムボードの設置
 - ・ 小学生等による出迎え
 - ・ 花の贈呈等の実施



▲小学生によるお出迎え※G20 新潟の例

■ 歓迎レセプション

- 参加者を盛大におもてなしするため、農林水産省と合同で、歓迎レセプションの実施を調整中。
 - ・ 会場の装飾や提供料理等の詳細は、農林水産省において検討中。(本県の農畜水産物や特産品を積極的に活用してもらうよう調整中)



▲歓迎レセプション ※G20 新潟の例

■ 米粉スイーツレシピコンテスト

- 稲作文化や米粉の魅力をPRするため、米粉を使ったスイーツのレシピコンテストを実施。
 - ・ 応募数：98点
 - ・ 結果：県立高校の部、私立高校の部、高等教育機関の部でグランプリ各1名を表彰(3/20)
- グランプリ獲得作品は、コーヒーブレイク等での提供を調整中。



■ サポーター委嘱

- 会合の運営を支えるサポーター（ボランティア）を公募・選考の上、一般サポーター及び大学推薦による学生サポーターを約60名に委嘱予定。
 - ・ 委嘱式・第1回研修会（3/26 シーガイア予定）
 - ・ 第2回研修会（4/15 県庁予定）



▲ボランティアによるお出迎え
※G20 新潟の例

3 広報・PR事業

■ 広報デザイン等を用いた情報発信

- 広報デザインにより、機運醸成に向けた以下の取組を実施。
 - ・カウンタダウンボードの設置（6カ所）
 - ・横断幕・懸垂幕等の掲出
 - ・テレビ・ラジオCM放映
 - ・ホームページの作成、パンフレット・ポスターの配布等
- TVやラジオで活躍されている木村つづく氏に「G7宮崎広報PR大使」を委嘱（2/15）



▲広報デザイン



▲懸垂幕



▲PR大使委嘱式

■ カウンタダウンイベント

- 150日前（11/22）（カウンタダウンセレモニー）
カウンタダウンボード除幕式、県産品の振る舞い・特売、ステージイベントを実施
- 100日前（1/12～2/11）（ハッシュタグキャンペーン）
カウンタダウンボードの写真をSNSに投稿した方から抽選で県産品を贈呈
投稿数：248点
- 77日前（2/4～5）（みやざき「花の祭典2023」PRブース出展）
ステージイベント、カウンタダウンボード設置、来場者ミニゲーム等を実施



▲カウンタダウンセレモニー



▲ハッシュタグキャンペーン



◀花の祭典2023のPRブース

- 50 日前 (3/4) (まつり宮崎ブース出展)
ウェルカムゲートの設置、G7 法被を着用、G7 PR ブースの設置、
「クイズで考える私たちの食と農」(Do You 農?) の実施



▲G7 法被を着用



ブースには行列も▶

- 30 日前 (3/20) (記念シンポジウム)
第3回協議会総会、農業者及び高校生等による取組の報告、有識者(堤未果氏)
による講演会、米粉スイーツレシシピコンテストグランプリ作品の提供等

■ 県民参加プロジェクト応援事業補助金

- 民間団体が実施するG7 農相会合開催記念イベントへの費用を補助(対象事業費
の1/2、上限100万)

<補助事業一覧>

	事業者	事業内容
1	AVC放送開発	G7 参加国や宮崎の農畜産物をテーマとした フードフェスティバルの実施
2	宮崎産業経営大学	高校生及び大学生を中心とした食料安全保 障等の研究活動とコンテスト等の実施
3	宮崎市国際交流協会	宮崎の生産者と消費者を繋ぐマルシェの実 施
4	道守みやざき会議	県民参加による橘通沿道への花の植栽とウ ェルカム看板の設置
5	合同会社ミミスマス	世界農業遺産高千穂郷・椎葉山地域の農産物 の試食販売イベントの実施
6	宮崎観光ホテル	「食」「農」「健康」をテーマにしたホテルレ ストラン企画の実施
7	宮崎物産協会	宮崎の特産品の実演販売イベントの実施

■ サミット給食

- 県内小・中学校において、サミット給食を実施
- 河野知事が学校を訪問し、生徒と会食（3/10）



▲サミット給食（1/12 青島小）



▲知事もサミット給食に参加（3/10 綾中）



▲サミット給食に合わせて YOUTUBE 動画制作（3/15 明道小）

■ 国際理解講座

- 県内小・中学等において、G7農相大臣会合開催をPRするとともに、食育を推進し、国際理解を深める機会とするため、国際理解講座を実施

- ・宮崎市立青島小学校（1/12）

県国際交流員エイリー・ギャロウェイ氏（イギリス出身）が、イギリス文化について講演（サミット給食と同日に実施）

- ・宮崎市立赤江東中学校（2/6）

宮崎市立赤江東中学校において、在京都フランス総領事館総領事ジュール・イルマン氏が、「びっくりフランス」と題してフランス文化について講演

- ・私立宮崎第一中学校（2/15）、宮崎市立清武小学校（2/16）

農林水産省輸出・国際局審議官谷村栄二氏（宮崎市出身）が、日本の食料や農業の現状・未来について講演

- ・私立鵬翔高校（2/24）

駐日欧州連合代表部（EU）上席通商担当官小林恵氏が、EUの国際的な役割等について講演

- ・綾町立綾中学校（3/10）

宮崎市内に在住するアレックス・ヘイ氏（フランス出身）が、フランス文化や日本との文化の違いについて講演（サミット給食と同日に実施）



▲びっくりフランス（2/6 赤江東中）



▲谷村氏講演（2/15 宮崎第一中）



▲小林氏講演（2/24 鵬翔高校）

■ 絵画・ポスターコンクール

- 農業や食・文化・自然及び SDGs からみた「ふるさとの自慢」をテーマに、絵画（小学生、中学生）及びポスター（高校生）のコンクールを実施

- ・応募数：454 点
- ・結果：入賞 36 作品



▲小学生の部
最優秀賞作品



▲中学生の部
最優秀賞作品



▲高校生の部
最優秀賞作品



▲表彰式（2/4 イオンモール）

■ プレスツアー

- 在京海外メディアに対して本県の農業や食の魅力等をPRするツアーを実施
- 各メディアが取材した内容は、国内外の視聴者や購読者に発信
- ・第1回目（1/24～1/25）
6か国から9社が参加。大根やぐら、酪農場、世界農業遺産関連施設等を訪問
- ・第2回目（4/6～4/7 予定）
果樹園や酒造場、青島等を訪問



▲大根やぐら

■ その他、イベントにおけるPRブース等設置

- みやざき「花の祭典 2023」（2/4～2/5）[再掲]
- 侍ジャパン宮崎キャンプ 2023（2/17～2/27）
- まつり宮崎（宮崎駅前）（3/4）[再掲]
- 園芸の祭典（宮崎空港）（3/4）
- 世界・日本農業遺産イベント（宮交シティ）（3/4）
- フローランテ宮崎（3/18～）
- 宮崎市フェニックス自然動物園（3/18～）
- みやざきウェルカムマーケット in 街市（一番街）（3/25）



▲WBCにおけるPRブース

■ 農業シンポジウム（協力事業）

- 持続可能なみやざき農業の実現に向け、基調講演や事例発表、パネルディスカッション、農業者による「行動宣言」の採択等を実施



▲基調講演



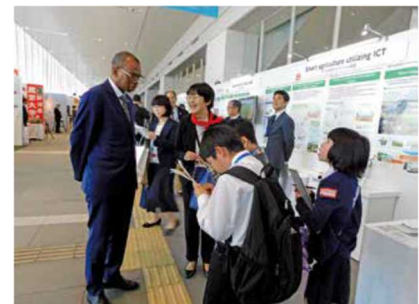
▲パネルディスカッション



▲行動宣言採択

■ キッズプレス

- 県内小学校3校、中学生4校の約30名が郷土の魅力の再発見や国際理解等に関する取材を行い、宮崎日日新聞にて特集記事（3月毎週金曜日・5月上旬）を掲載予定
- 会合当日に会場において、会合関係者へ直接取材等を行えるよう農林水産省と調整中



▲大臣への取材 ※G20 新潟の例

■ ノベルティグッズ

- 各種イベント等において、ボールペン、ウェットティッシュ、クリアファイル等のノベルティグッズを配布
- クリアファイルは、ポスターコンクール最優秀作品（高校生の部）のデザインを採用



▲クリアファイル、ウェットティッシュ、ボールペン

4 渉外・総務事業

■ G7 宮崎農業大臣会合協力推進協議会

- 協議会設立総会（10/24）
- 第2回総会（11/15 書面議決）
 - ・事業計画案、予算案等について可決
- 第3回総会（3/20）
 - ・事務局から事業実施状況等について報告



▲設立総会

■ 準備会合（SOM会合）（2/6～2/7）

- 各国の高級実務者が参加する中、開催地からの代表挨拶として、協議会事務局次長により宮崎県を紹介。
- レセプションでは、宮崎牛や県産トマトのメニューが並んだほか、日向夏、完熟きんかん、スイートピーをPR。



▲協議会次長による挨拶



▲本県からはきんかん・日向夏を提供

■ 大使館職員等視察ツアー（3/8～3/9）

- 会合参加予定国の在京大使館職員等を対象に、コンベンションセンターや宮崎空港その他の視察ツアーを実施
 - ・参加者：15名



▲シーガイアにて

5 その他の取組（関係団体との連携）

■ G7 Flower Garden (3/18～) [再掲]

- 春のフローラル祭にあわせ、宮崎市フローランテ宮崎の交流広場に和風庭園を創作し、各国の国花を植栽し演出。
児童によるウェルカムフラワーの寄せ植え活動も実施。
(宮崎市フローランテ宮崎)

■ G7 ゆかりの動物クイズ (3/18～) [再掲]

- 宮崎市フェニックス自然動物園にて、G7各国にゆかりのある動物を探すクイズラリーを実施
(宮崎市フェニックス自然動物園)



▲イベントチラシ

■ 阿波岐原森林公園パークウェイ沿道修景 (4月上旬～)

- 本会場周辺となる阿波岐原森林公園パークウェイのブーゲンビリアや季節の草花による華やかな装花
(阿波岐原森林公園パークウェイ)



▲華やかな沿道修景

G7宮崎農業大臣会合中の本県PR等について

1 歓迎レセプション（国・G7宮崎農業大臣会合協力推進協議会 共催）及び大臣主催夕食会（国主催）

(1) 日程

- ①歓迎レセプション：令和5年4月21日（金）
- ②大臣主催夕食会： “ 22日（土）

(2) 場所

シーガイアコンベンションセンター（宮崎県宮崎市）

(3) 参加者等

- ①歓迎レセプション
約200～300名程度
- ②大臣主催夕食会
各国大臣等

(4) 主な内容（※詳細は現在調整中）

- ①歓迎レセプション
 - ・宮崎の食材等をはじめ、日本の食文化や輸出産品をPR
 - ・焼酎や日本酒の提供カウンターで、宮崎の焼酎等をPR
 - ・伝統芸能等のアトラクション 等
- ②大臣主催夕食会
 - ・宮崎の食材等をはじめ、日本の食文化や輸出産品をPR 等

2 会場展示・装花等のイメージ

(1) 日程・場所

令和5年4月21日（金）～23日（日）
シーガイアコンベンションセンター2F・4F

(2) 本県関係の主な内容（※詳細は現在調整中）

【会場展示関係】

- ・高千穂郷・椎葉山の山間地農林業複合システムの取組（世界農業遺産）
- ・自動収穫ロボットや施設園芸環境制御等による生産性向上の取組
- ・地域資源循環型農業の取組
- ・多様な人材育成や活躍促進の取組

- ・ 日本農業遺産
- ・ 本県観光・物産等のPR

【会場装花関係】

- ・ 県内で生産された花を使用した会場装花（本会合会場・バイ会談室等）
- ・ ウェルカム装花（ウェルカムボード周辺、ホワイエ、ホテル・会場間の連絡通路等）

3 その他のおもてなし

- 宮崎への到着時・宮崎からの出発時における歓送迎
- シーガイア到着時の小学生による歓迎（折り紙によるウェルカムボード作成）
- コーヒーブレイクにおける高校生等発案の米粉スイーツの提供
- ホテル客室への宮崎市内の中学生制作のウェルカムカード設置、ウェルカムフルーツ提供 等

G7宮崎農業大臣会合における現地視察の候補について

4月23日（日） ※詳細は調整中

○ 宮崎神宮（宮崎市神宮）

- ・ 記念撮影、参拝
- ・ 神宮会館へ移動して昼食 等



○ マンゴー園地（宮崎市阿波岐原町）

- ・ ハウス内で栽培技術の説明、収穫体験
- ・ 糖度測定、試食 など



○ 宮崎県立宮崎農業高等学校（宮崎市大字恒久）

- ・ 試験ハウスの視察及び加工品の紹介
- ・ 校内ほ場にてスマート農業の視察 等

